

むらたまち

議会だより

Vol.144
2025.2.1.



蔵ノ街一座 劇団楓



和太鼓 幻創

盛大に行われた賀詞交歓会

- 令和6年12月定例会 … 2
- ズバリ!町政を問う【一般質問3人】 … 4
- 常任委員会リポート … 8 他

予算 3億6716

万円を追加

まちづくり振興課 商工費

布袋保存会助成金 老朽化が進む布袋山車庫を移転

12月補正予算 300万円



生涯学習課 社会教育費

沼辺地区公民館 耐震化・長寿命化 シロアリ対策工事 他

12月補正予算 3773万円

総予算額 令和5年 契約額 6875万円

6月 補正予算 3500万円

合計 1億4148万円



生涯学習課 社会教育費

菅生地区公民館 耐震化・大規模改修 シロアリ対策工事・アスベスト除去

12月補正予算 7525千円

総予算額 6年度 当初予算 6279万円

合計 1億3804万円



令和6年第5回定例会は12月10日から13日までの3日間開催されました。
この定例会では人事院勧告による条例の一部改正1件、仙南地域広域行政事務組合の規約変更による改正1件、承認1件、専決事項の補正予算6件、町の施設の指定管理者の指定4件が提案されました。
一般質問は3人の議員が、町の考えや対応を質しました。

A

沼辺公民館等にかかる長寿命化及び耐震工事について調査した結果、屋根下地となる木素材に雨漏りによる腐食が確認された事によるものです。今回の事業の規模として公正を期すため条件付き一般競争入札とするものです。

Q

沼辺公民館及び体育館の改修工事については変更工事で随意契約と同様になり、公正の面での担保が保たれないと思うがいかがか。

A

現在の商工会付近と考えており幅6メートル奥行10メートル位と考えている。

Q

布袋まつりの山車車庫の移転場所はどのあたりになるのか。

■議案第45号 令和6年度村田町一般
会計補正予算（第5号）

第5回定例会議案
質疑応答（抜粋）

一般会計補正

建設水道課 道路橋りょう費

**社会資本整備総合交付金事業
道路改築 町道千塚竹ノ内線****12月補正予算 1億338万円**

令和6年第5回 定例会の議案と採決結果

議 案 名	採決結果
専決処分事項の報告承認	
承認第9号 令和6年度村田町一般会計補正予算（第4号）	承認 賛成 11：反対 0
補正予算	
議案第45号 令和6年度村田町一般会計補正予算（第5号）	原案可決 賛成 11：反対 0
議案第46号 令和6年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決 賛成 11：反対 0
議案第47号 令和6年度村田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決 賛成 11：反対 0
議案第48号 令和6年度村田町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決 賛成 11：反対 0
議案第49号 令和6年度村田町上水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決 賛成 11：反対 0
議案第50号 令和6年度村田町下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決 賛成 11：反対 0
条例の一部改正	
議案第55号 仙南地域広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び仙南地域広域行政事務組合規約の変更について	原案可決 賛成 11：反対 0
議案第56号 村田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 賛成 11：反対 0
指定管理者の指定	
議案第51号 指定管理者の指定（村田町民体育館） 指定する団体 特定非営利活動法人むらたスポーツクラブ 代表者 村上利仁 指定期間 令和7年4月1日から令和10年3月31日まで	原案可決 賛成 11：反対 0
議案第52号 指定管理者の指定（村田町武家屋敷 旧田山家） 指定する団体 株式会社ガイア 代表者 相澤国弘 指定期間 令和7年4月1日から令和10年3月31日まで	原案可決 賛成 11：反対 0
議案第53号 指定管理者の指定（村田町老人憩の家） 指定する団体 社会福祉法人村田町社会福祉協議会 代表者 高橋郁夫 指定期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで	原案可決 賛成 11：反対 0
事案第54号 指定管理者の指定（姥ヶ懐民話の里ふるさとおとぎ苑） 指定する団体 一般財団法人村田町ふるさとリフレッシュセンター 代表者 村上 博 指定期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで	原案可決 賛成 11：反対 0

ズバリ！ 町政を問う



- **菊地 睦夫 議員** (5ページ)
 - 1. 犯罪のない安全で安心なまちづくりについて
- **山家 大 議員** (6ページ)
 - 1. 廃校跡地を地域の交流拠点に
 - 2. 子ども医療費助成受給者証のマイナンバーカードへの紐づけを
- **高橋 勝 議員** (7ページ)
 - 1. 福祉灯油等の町民の暮らしを支える取り組みについて
 - 2. 除雪作業対応について

一般質問とは？

一般質問とは、議員が町長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問を質すこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。



きくち むつお
菊地 睦夫 議員

犯罪のない安全・安心なまちづくりを

防犯カメラの設置は

最近のニュース報道では、首都圏を中心に闇バイトによる犯罪が多発しています。

本町においても昨年の窃盗・その他事件は40件、本年は35件発生しており、近年では近隣の県や市町でも犯罪が増加し、身近でも犯罪の手口も多様化した犯罪を未然に防ぐためにも早期の対策が必要だと考えます。

質問1

「村田町安全・安心まちづくり基本計画」のなかで、各事業所等において防犯意識の向上を図るため、防犯カメラの設置を推進しているが、本町の設置状況と今後の設置計画を伺う。

町長答弁

近年、平穏な日常生活を脅かし社会不安の増大につながる多様な犯罪が増加傾向となり、その様な不安を払拭するため、本町では保育所・幼稚園・子育て支援センター・児童館・小中学校に防犯カメラを設置し、それに加え不法投棄対策として、町内各所に防犯カメラを設置しております。

今年度は、役場本庁舎・西庁舎・東庁舎・中央公民館・保健センター・旧第三小学校体育館等を年度内に設置工事の完了予定です。

今後は、学校や各行政区長との協議により、必要となる公共施設への防犯カメラの設置について検討します。



防犯対策の助成は

質問2

近年、一般住宅などでも強盗事件が増加しているため、今後は一般住宅等への防犯対策を町として推進していく考えはあるのか。

町長答弁

「村田町安全・安心まちづくり基本計画」の趣旨として、町民の皆様が「自らの安全は自らが守る」という意識を持つために町防犯実動隊による日中・夜間のパトロールを実施しております。また、身近でも犯罪が発生し手口も多様化しており防犯カメラの設置が犯罪抑止に効果的であることは認識しておりますが、プライバシーや肖像権の問題がトラブルに発展する可能性もあることから一般住宅等への防犯カメラの設置については、警察機関等との協議・連携のものと対応が不可欠と考えております。

追質問

防犯に関するアンケートを50人のかたに実施したところ、日常生活に犯罪被害の不安があり防犯対策の機器の購入のために町からの助成金が必要との回答が9割ありました。

石破首相は2024年度補正予算に関連費を計上することも検討しているところ、この予算が出た場合、町からの助成はどうか。

総務課長答弁

内容を承知してまいりますが分かり次第検討してまいります。



1. 統廃合と同時に跡地整備を 2. 受給者証管理 マイナカードで便利に



やんべ 山家 だい 大 議員

Q、廃校跡地の利用方針は

A、未定。統合施設決定後検討していく

質問1

多目的広場のような住民が広く活用できる施設の整備についての考えは。

教育長答弁

これまでの学校の役割を踏まえ、住民の意向や地域ニーズに配慮した活用をしたい。

質問2

解体や整備費用で補助金等を活用できる制度はあるか。

教育長答弁

現時点では補助金はないが、解体撤去や原状回復の費用には対象となる起債がある。整備費用については、利活用を検討する段階がきたら改めて確認したい。

質問3

住民との意見交換会や地域ニーズの調査計画は。

教育長答弁

現時点で予定はないが、統合施設の決定後は実施が必要と考えている。



五小跡地はミヤコーバス村田営業所に

追質問

利用方針もなく廃校を放置されると跡地の荒廃や周辺の不動産価値への悪影響が懸念され、住民は不安ではないか。

町長答弁

近隣自治体の事例も踏まえ住民と協議しながら利用方針を進めていく。

追質問

第二小学校の場合、築年数、浸水リスク、地盤を考慮すると建物の活用は難しい。廃校後はすぐに更地にし簡易的にコミュニティの場として利用し、その後ニーズや財源状況で計画していく方法が有効ではないか。

町長答弁

建物の老朽化や活用のしやすさを考えると解体は有効であるが、いづれにしろ地域と話し合いながら進める。

追質問

第一中学校は耐震補強が施されており、引き続き使用可能と考える。そこで、新校舎建設は先送りし現校舎で統合をスタートさせ、先に第二小学校を解体した後、新校舎建設を進めるのはどうか。

教育総務課長答弁

計画案通り令和10年の新校舎完成を目指す。

Q、マイナ保険証と受給者証の紐づけは

A、国の動向を踏まえて対応していく

質問1

子ども医療費助成受給者証のマイナンバーカード紐づけ導入は。

町長答弁

国では全国的な運用を令和9年度から開始予定とし整備も始まっているが、PMHに対応済の自治体に限る利用可能。導入のためのシステム改修には多額の費用がかかるため各省庁の動向を踏まえ対応していく。

PMHとは

パブリックメディカルハブの略称



自治体・医療機関・薬局が情報共有するためのデジタル連携基盤。



たかはし まさる
高橋 勝 議員

1 福祉灯油など暮らしに支えを 2 除雪作業の対応は

福祉灯油購入補助は

質問1

令和3年度に国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、住民非課税世帯などに1世帯あたり5千円の灯油購入費給付金を支給したが、政府の経済対策と補正予算を視野に入れ、「福祉灯油購入」などの助成制度を検討されているのかどうか、国・県の補助がない場合町独自の助成は。

町長答弁

令和3年度に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、福祉灯油購入給付事業として住民非課税世帯に、1世帯5千円分を灯油購入費の一部として、合計951世帯に給付した。今年度追加で、住民非課税世帯に1世帯あたり3万

円、子育て世帯には子ども一人あたり2万円を加算することが決定された。今後の国の動向に注視し、周辺自治体の状況も確認しながら、必要な対応を考えている。

町独自としての給付金は考えていない。



灯油入れポリタンク

除雪・融雪への対応を

質問1

除雪作業は早朝の通勤通学時間帯までに終了されると思われるが、出勤が早い方からは間に合わないなどの苦情もよせられて

いる。除雪・融雪作業を行う基準はどのようなになっているのか。

町長答弁

本年も町内建設業者10社と「町道等除雪・融雪作業業務委託」を契約締結し、冬場の道路の安全確保のために、体制を整えた。気象情報などによる事前判断をもとに、除雪作業については、概ね10センチ以上の積雪が確認された場合と、除雪・融雪作業は原則交通量が少ない夜間から早朝にかけて行い、通勤・通学時間帯までに完了するよう努めている。

質問2

「除雪・融雪ボランティア」の必要性は。

町長答弁

平成30年度より「町道等除雪作業ボランティア機械経費助成事業」を実施し、登録頂いたボランティアが所有しているトラクター等

を使用し、各地区の狭隘道路や歩道などを除雪する際、燃料費等助成して、現在、昨年同数の10行政区から登録されている。今後とも本事業の啓発に努め、道路環境の安全確保に努めていく。

追質問

除雪・融雪道路の距離数は。

建設水道課長答弁

町が管理する幹線道路は農道合わせて76路線で約78キロ、融雪道路は農道合わせて約23路線37キロです。



除雪作業機械

リポート

行財政運営について（10月30日実施）

総務常任委員会

令和5年度の歳入歳出状況

令和5年度の歳入は62億2900万円となり年度より8千460万円の減となった。

歳入の主なものとは自主財源である地方税（町民税、固定資産税等）で14億7500万円、地方交付税22億2200万円、国庫支出金8億2800万円、寄付金として（ふるさと納税）2億3500万円、地方消費税交付金2億6500万円、その他借入金として地方債3億8900万円が歳入となっている。

歳出については59億8800万円で主なる歳出は人件費が12億700万円、物件費10億1600万円、扶助費6億3800万円、普通建設事業費6億9600万円、公債費6億7100万円となっていて歳出合計は歳入額を下回っている。

財政状況は実質収支比率・経常収支比率・健全化判断

一般会計 歳入歳出状況（千円）

年度	歳入	歳出
令和3年	6,660,709	6,385,663
令和4年	6,314,215	6,051,023
令和5年	6,229,623	5,988,300

比率の数値も良好な状態にある。

○委員会所見

令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大により、国からの臨時財政対策債や事業支援対策交付金等で、時的に町の歳入歳出は増加したが、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行し、今後の特別臨時交付金等の交付は見込めないことから町の財政規模は減少傾向となる。

今後は、人口減少に伴い自主財源は減少傾向となるので、町税等の収納対策については特に滞納整理に留意すること、ふるさと納税については返礼品の新たな開発を促進するとともに、経費の節減を図り、増収につながる取り組みを進める必要がある。

歳出にあつては、義務的経費の歳出が4割以上を占めていることから、今後も支出の抑制を図る必要があるが、景気回復のための公共事業における先行投資にも留意することが必要である。

公債費残高は毎年減少していることから、今後も新規の地方債発行を抑制し、公債費残高の縮減に努めていく必要がある。

鳥獣被害対策等について（11月14日実施）

産業建設常任委員会

○被害の現状と捕獲頭数

本町における有害鳥獣の被害はイノシシが主で、水稻が6割、野菜が4割。農作物被害の増加は、耕作放棄地の増加も懸念されている。

*イノシシの捕獲頭数推移

R3 466頭

R4 384頭

R5 376頭

*農業被害額の推移

R3 372万円

R4 371万円

R5 216万円

○狩猟資格取得者に対する支援

対象者は、新規取得者及び資格更新者です。

（補助対象経費）

・県猟友会事前講習会受講料

・狩猟免許試験受験費用

・狩猟免許更新手数料

（補助限度額）

R5 新規：5,000円

更新：2,800円

R6 全額

○委員会所見

有害鳥獣侵入防止柵については、令和3年度から令和6年度までに、ワイヤーメッシュ柵28,388m、電気柵

41,420mが設置された。

有害鳥獣対策として侵入防止柵の設置は有効であるので、引き続き設置の促進を図りたい。

水稻、野菜の農作物への鳥獣による被害は、生産者の生産意欲の低下を招き、耕作放棄地増加の一因となっている。

農業、そして社会生活への影響を考えると、被害防除はもとより個体数管理と周辺の環境整備の取り組みが最も重要である。この中でも、昔ながらの環境整備、つまり里山の再生は森林を明るくし、野生動物を人里に近づけない有効な対策と考えられるので、町内での取り組みを強化されたい。



資格者の模擬銃による説明

常任委員会

学校教育環境等のあり方について(11月13日実施)

教育民生常任委員会

村田町教育委員会では平成30年6月に基本方針を策定したが、出生者数の減少傾向から令和2年12月に見直しを行い、小学校、中学校とも統合とし、その時期と施設については令和6年度までにその方針を決定することとした。

○令和6年度中の方針決定に向け左記による協議、検討、説明を実施。

- ・教育委員会定例会
- ・総合教育会議
- ・学校教育環境整備推進委員会
- ・議会全員協議会
- ・保護者向け意向調査
- ・地区、保護者向け説明会
- ・学校再編庁舎内検討委員会など

- 方針案令和6年9月時点
- ・小学校
- 統合時期：令和9年度
- 統合施設：村田小学校
- ・中学校
- 統合時期：令和10年度
- 統合施設：村田第二中学校



現在の村田第一中学校

○委員会所見

予算や学校環境のあり方について速やかに具体的な計画を示す必要がある。特に費用は財政面の不安や昨今の建築コストの大幅な上昇、社会情勢の変革などで予算から大幅に変動し財政負担がさらに増える可能性があるため早急に計画すべきである。

地区や保護者の方への対応面では、意向調査における無回答の方の意思確認や、地区・保護者説明会の参加促進を図りたい。また、会議の経過報告はホームページやSNSに加え、保護者に向けては書面でも配布するなど周知方法を検討されたい。

令和6年度 市町村議会議員セミナー

会場：市町村職員中央研修所

(千葉県千葉市美浜区)

令和6年10月31日(木)

11月1日(金)

受講者：太田初美 村上登
山家寛二 三名

令和7年1月9日(木)

1月10日(金)

受講者：遠藤実 大久保廣信
鈴木宏 三名



○所見

最近の社会経済の急激な進歩や変化に対応し、地方分権型社会の構築に向けて多様化する住民ニーズに即した市町村行政が推進されるよう、研修を通じて議員の能力向上を図り福祉と地域振興に資することを目指すに受講した。



○所見

各講師の講演では、地域の魅力やブランドへの気づき、自立型人間や地域経営を実現するための要素として、議会の役割は重要で世界一の超高齢社会での自治体の労働力不足のあり方など、現状と課題、提案等について受講した。

わたしの思い

松本清張作品について

高橋 洋平 さん(小泉西町)

作家、松本清張は明治四十二年九州小倉で生まれた。四十歳過ぎてから作家になった。

昭和二十八年「或る『小倉日記』伝」で第二十八回芥川賞を受賞する。清張の作品の主人公には一貫して生活に困窮する人たちが多く登場する。金持ちや名士が登場しても主人公にはなりえない。共通するのは庶民の生活者の目から見た社会を描くことである。

それは現代小説、時代小説と変わらない。その理由はなにか？ 私は清張が低学歴のために職場（印刷工場）で差別され辛い経験をしたことが柱になっているのではないかとと思う。それと彼の作品には全国を舞台にしたものが圧倒的に多い、その地方の風景描写が実にこまやかでくわしく表現しているのも魅力のひとつだ、まるで旅行案内のようである。さらに登場人物の性格

描写も分かりやすく書いている。

数ある作品のなかでぜひ町民の皆さんに勧めたい小説を挙げてみたい。村田町の名が出てくる「砂の器」、九州、北海道を舞台にした「点と線」、女性が主人公の「黒川の手帳」、時代小説では「西海道談綺」、「左の腕」、「唯一、私小説風の「父系の指」、「半生の記」などである。



了

次の定例会は 3月4日より開会予定です

本会議の様子をインターネット中継で配信します。

村田町ホームページアドレス(下記)より
<https://www.town.murata.miyagi.jp/>
コンテンツ「議会」から「議会中継」へ
アクセスしてください。

本会議の日程については、
町ホームページの「本会議開催予定表」で
お知らせしています。

議会を傍聴しませんか。どなたでも
傍聴できます。(定員22人)

詳しくは議会事務局まで TEL83-6410

お詫びと訂正

村田町議会だより第142号(11月1日発行)22ページの「総務常任委員会レポート」において、内容に誤りがありました。

お詫びして訂正いたします。

正:一級河川「荒川」

誤:一級河川「松川」

～「わたしの思い」を募集します～

町内に住所を有する方で、ご自身の趣味や仕事、日ごろの思い等を掲載しませんか？

※詳しくは村田町議会だより第142号を参照ください。

編集後記

議会では昨年の11月1日号で『わたしの思い』を募集したところ、早速応募をいただきありがとうございました。『議会だより』は議会活動の状況を広く町民皆様に伝え、議会に対する理解と認識を深めてもらうこと、二層の充実を図ることで「わたしの思い」などでご自身の趣味や仕事、日頃の思いなどを募集しておりますので、これからは忌憚なく応募をお願いします。「議会だより」を更に身近なものと感じ興味を持っていただけるような広報紙にしていきたいと思います。

議会広報編集特別委員会

委員 鈴木 正信

発行・編集責任者
議長 遠藤 実
議会広報編集特別委員会
委員長 高橋 勝二
委員 長 山家 寛
副委員長 加藤 喜太郎
委員 大久保 廣
委員 山家 大宏
委員 鈴木 正信
委員 鈴木 陸夫
委員 菊地 登
委員 村上